不 と流行は不即不 離 **(7)**

33 Q 特太楷書体/字間4分アキ る、 は、 残しています。それらによれば、「不易」と「流行」は不即不離の関 にあり、変化を求めて精進努力し、進歩し脱皮しつづけると、 身は俳論を残しませんでしたが、弟子たちが師の語録や聞き書きを 不易とは「変わらないこと」、流行とは「変わること」。相反する二者 という蕉風俳諧の理念を示した言葉が「不易流行」です。芭蕉 ともに「風雅の誠」から出たもので、その統一に俳諧の本質があ やが

ことができ、今もなお「不易流行」が多く の人のモットーとなっているゆえんです。 諧のみならず、芸術一般の理念とみなす と呼ばれる、というわけです。これは俳 打つことができる。そのときそれは「不易」 時代を超えた永遠性を帯びて、人の心を これは俳諧のみならず、芸術一般 易」と呼ばれる、 永遠性を帯びて、 とができる。そのときそれ 求めて精進努力し、 つづけると、 は不即不離の関係にあり、変化

それらによれば、「不易」と「流行」

144Q 中太楷書体/字間ツメ

進歩し脱

やがて時代を超えた

人の心を打

というわけです。